

2 成岡田農地・水保全管理活動組織（奥州市前沢区）

（1）活動のポイント

- 若い世代への積極的な働きかけを行い、農地維持・管理などの共同取組活動への参画を促すことにより、世代交代を進めるとともに、美しい棚田などの景観を守りながら営農活動を継続している。
- 水稻農家と繁殖牛農家の、稲わら・たい肥交換など、地域内の耕畜連携を進めることで、持続的な農業が定着するとともに、前沢牛ブランドの一翼を担っている。
- 伝統芸能である「成岡田神楽」の保存・継承活動を通じて、子供や女性、高齢者など集落住民全員での農村コミュニティーの維持・強化が図られている。

（2）現地調査における主な質疑

委員（質問・意見）	組織（回答）
・次世代への働きかけにより、世代交代が図られたとあるが、何か得策はあったのか。	・各々の家で、親が子へ呼びかけることにより、活動していなかった世代が徐々に活動に参画するようになった。
・集落では女性は多いか。	・女性の割合は高く、幼い時からここで育った者が多いため、集落全員が親密でまとまりやすい。
・次の世代の確保はできているのか。	・若い世代は地域外へ出て行くため難しいが、連絡が途切れないようにして、自分たちの農地は極力自分たちで作業させるようにしている。
・小さい組織ならではの密な取組は素晴らしいが、何か工夫はあるのか。	・6月と9月の共同取組活動（草刈り、水路の整備）の際に、地域外の人に案内を出し、各自で行うような体制を作っている。
・農地は、全て耕作しているのか。	・ほとんどが耕作地であり水稻が多いが、管理保全のみの農地も若干ある。
・よく営農を維持できているが、秘訣は何か。	・一人当たりの経営規模が大き過ぎず、無理がないと考えられる。
・体験型教育旅行の受け入れを通じ、都市住民へ米を送る取組は、交流拡大につながり素晴らしい。	
・集落に人が残っていくためには、農業経営の規模や姿をどうしたいか具体的に考えると同時に、行政への提案も必要。	

(現地調査の写真 成岡田農地・水保全管理活動組織)



取組に係る説明



協定農用地 (棚田)



協定農用地



協定農用地周辺



協定農用地の紹介



成岡田神楽が行われる久須志神社



久須志神社周辺



景観形成のための花木の植栽等